

具体的行動に優る策なし

SHOW "No Action No-result"



台風などの自然災害発生前後の注意 屋根の点検悪質業者の出現

台風7号の関東地方通過の警報が発出された今月16日、近在警察署からのメルマガ通報で、屋根の修理・自宅リフォーム業者が突然訪問し、無料で点検しますといったケースが、災害発生後にでてくる可能性が高いとの注意喚起を発信しています。

具体的な手口は、「先日の台風で屋根の状態点検のためこの地域を廻っています。無料で点検できるので、屋根を診(み)せて欲しい」といってきます。仮に点検を認めると「台風の影響で屋根が壊れている」「今すぐ修理しないと次の台風が来たときたいへんになります」などといって修繕を促し、修理の契約（金額が高額な場合が多い）を迫ってきます。これはいわゆる点検商法という悪質な手口です。その対策は以下の通りとなります。



- ◆ 訪問販売（無料点検しますを含む）には直接面会せず、インターネット越しで行う。家の中に簡単に招かない。
- ◆ 仮に契約する際は、ひとりで決めず家族に相談する。
- ◆ なんかオカシイ、断ってもなかなかあきらめて帰らない場合は、即座に110番へ通報、または188（消費生活センター＝消費者ホットライン）へ相談を。
- ◆ 納得いかない契約の際は、クーリングオフの制度※（契約キャンセル）※を活用する。契約時にクーリングオフを説明しない場合、決してその契約はしないこと（完全に怪しい）。
※困ったら188（消費者ホットライン）に迷わず電話を。

偽の災害注意喚起情報サイトから不良サイトへの誘導事案発生

総務省はSNS上で災害発生時に偽情報を流すケースが多発している状況を受け、8月13日までにSNSを運営する大手4社（グーグル、メタ、X、ライン）に対し「利用規約を踏まえた適切な対応の実施」、要するに、そうした輩（やから）の掲載を適正に管理、対応するよう管理者には求めました。



南海トラフ巨大地震発生の注意情報が発せられて以降、こうした偽の災害警戒情報を流し、その中のリンク先から、アダルトサイトや出会い系サイトに繋がるような手口が多発、のちの台風7号の関東地方接近時にも、同様のケースが多発しました。後者では、台風情報を装ったスパム（勝手に送りつけられる通信）30万件超が発生したことが、報道各社からの通報で明らかになっています。



台風への警戒呼びかけ、停電への対応が必要などのキャッチーなメッセージで注意喚起サイトを装い、全く関係のないサイトへ閲覧者を誘導しています。海外のアカウントから通報も多く、捜査機関による犯行組織発見、摘発が難しいのが現状です。

情報検索の際は、情報源（発信者）が誰であるか、信用できるかを必ず確認し、不用意にその中のリンク先にアクセスすることには慎重でありましょう。情報源の信頼性判断が難しければ、決して閲覧しないことが大事です。